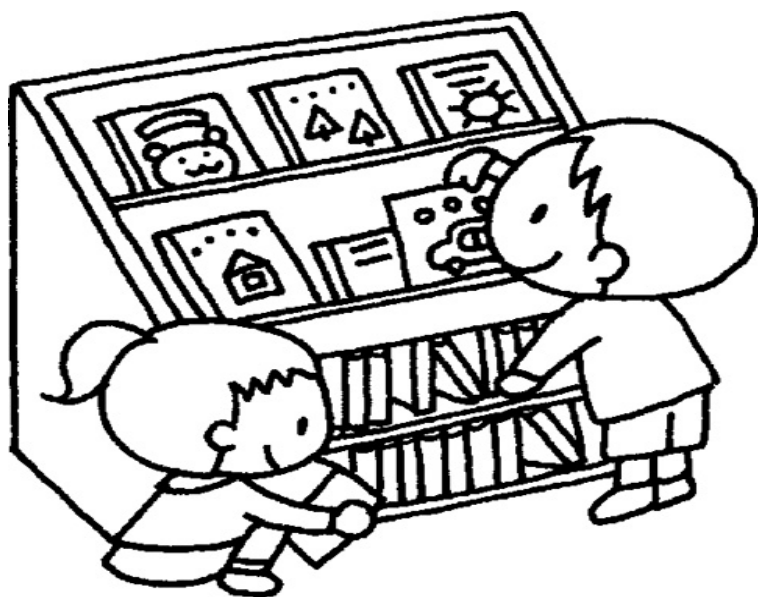


こどもとたのしむ

えほん おすすめ絵本



とよなかしりつ えん まいにち きょういく ほいく あそ せいかつ なか
豊中市立こども園では毎日の教育・保育の遊びや生活の中で、

こ ぞだ なか ま し てん えほん えら よ
子どもの育ちやクラスの仲間づくりの視点から絵本を選んで読んでいます。

さまざま えほん で あ こ はっそうりょく そうぞうりょく はぐく
様々な絵本との出会いが子どもの発想力や想像力を育み、

えほん よ
絵本を読んでもらうことで、コミュニケーションが深まります。

こ たち なんかい て と す えほん いち ぶ しょうかい
子ども達は何回も手に取る好きな絵本を一部ですが、ご紹介します。

れいわ おんど おんど とよなかしりつ えん えほんけんどうぶかい はっこう
令和6年度(2024年度) 豊中市立こども園 絵本検討部会 発行

さいじ
0歳児

くりかえしのことがおもしろい

「ばかっ」

さく もり
作:森 あさ子



「だるまさんが」

さく
作:かがくい ひろし

「ばかっ」というセリフと共に
いろいろなものがとびだします。
いろ
色がはっきりしているので
こ たち み たんじゅん
子ども達も見やすく、単純な
く かえ
繰り返しを にこにこしながら
み
見えています。

「どてっ」「ぷしゅーっ」…
だるまさんのユーモラスな動きが
うご
わら さそ
笑いを誘います。
「だ・る・ま・さ・ん・が」の
リズムに合わせて、だるまさんの
まねっこをしながら友達と笑い
あ
合っています。



さいじ
1歳児

まねっこたのしいね

「おつきさま こんにちは」

さく はやし あきこ
作:林 明子

「あっぱっぷ」

ぶん なかがわ
文:中川 ひろたか
え むらかみ やすなり
絵:村上 康成

えほん はじ まど ゆび さ
絵本が始まると窓を指差し
「くらいくらい」「おつきさま」と
さが
探したり、じっと外を眺めてみたり
そと なが
しています。月が雲にかくれると
つき くも
「だめだめ」「どいて」と悲しそうに
かな
泣くまねをして、友達と顔を見合わせ
な ともだち かお み あ
せています。

「〇〇さん にらめっこしましょう
わらうとまけよ あっぱっぷー」の
フレーズや、だるまさん、おさる
さん、ぶたさん、そして大好きな
だいす
おかあさんが出てくるところを
で
繰り返して楽しんでいます。
く かえ たの
顔まねもおもしろい。
かお



さいじ
2歳児

えほん いっしょ たの
絵本と一緒に、楽しいね

「ぶくちゃんのすてきなパンツ」

きく
作：ひろかわ さえこ

えほん み じぶん す
絵本を見ながら、自分の好きな
パンツを持ってきたり、パンツの
え み いっしょ
絵を見ながら「このパンツ一緒」と
ゆび さ
指差ししたりしています。
まいにち だれ も
毎日、誰かが「よんで」と持ってきて
おとな ひざ すわ よ
て大人の膝に座って読んでいます。

「おおきなかぶ」

とるすといさいわ
A.トルストイ再話

やく うちだ り さ こ
訳：内田 莉莎子

が きとう ただよし
画：佐藤 忠良

「うんとこしょ どっこいしょ」の
ごえ たの ともだち いっしょ げんき
かけ声が楽しく、友達と一緒に元気
よく言っています。
ぬ しゅんかん
抜ける瞬間は「やった!」「おおき
い!」と、とっても嬉しそうにしてい
ます。
じっさい たね そだ
実際にカブを種から育てていて
「おお 大きくなるかな?」と楽しみにし
ているところです。

さいじ
3歳児

ともだち
友達とワイワイもりあがっているよ

「11ぴきのねこ」

さく ば ば
作：馬場のぼる



「しーらんぺったん」

ぶん なかがわ
文：中川ひろたか

え ふじもと
絵：藤本 ともひこ

とらねこ たいしょう びき たち
とらねこ大將と10匹のねこ達が
おお さかな つか とお みずうみ
大きな魚を捕まえに、遠い湖まで
やってきます。
こ たち えほん おな
子ども達は、絵本のねこと同じポーズ
をしたり、「ニャゴニャゴ」とないた
りして、仲間になった気分になっています。

「しーらんぺったん りんご」
「しーらんぺったん ごりら」のフレ
ーズが気に入り、絵本を見たあとも
「しーらん ペったん つくえ」など
み ちか ともだち い
身近なものにくっつけて、友達と言
あ いっこして盛り上がっています。

さいじ
4歳児

ひろ
心の中でイメージが広がってるよ



「めっきらもつきら どおん どん」

さく はせがわ せつこ
作:長谷川 摂子
が
画:ふりや なな

ふ し ぎ せ かい まよ
不思議な世界に迷いこんだ かんたくん。
そこで知^しり合^あった友^{とも}達^{だち}と遊^{あそ}びます。
「めっきらもつきら どおんどん」と
いうフレーズが楽しくてすぐに覚^{おぼ}えた
子ども達。絵^え本^{ほん}を友^{とも}達^{だち}と囲^{かこ}み、セリフを
言^いいながら何^{なん}度^ども見^みています。

「ふにやらどうぶつえん」

さく
作:ふくだ すぐる

どうぶつ
動物たちは「いつもいてくれて
ありがとう」と言^いわれるたびに、
からだ
体^いがふにやっとなります。その
ばめん かなら こ たち
場面^{ばめん}がくると必^{かなら}ず子^こども達^{たち}が
「かわいい♡」と声^{こえ}をあげます。
えほん だいす なんど たの
この絵^え本^{ほん}が大^{だい}好^すきで何^{なん}度^ども楽^{たの}しん
でいます。



さいじ
5歳児

えほん せかい
絵本の世界が面白い

「だるまのしゅぎょう」

さく
作:ませぎ りえこ

けんか ちゅう ふたり おんな こ
中の二人の女の子が、だるまの
せ かい い しゅぎょう はなし
世界^{せ かい}に行^いって修^{しゅ}行^{ぎょう}をするお^{はなし}話^{はなし}です。
だるまの修^{しゅ}行^{ぎょう}内^{ない}容^{よう}も楽^{たの}しく表^{ひょう}情^{じょう}豊^{ゆた}かな
だるま達^{たち}に子^こども達^{たち}はど^ひん^こど^こん引^ひき込^こま
れていました。修^{しゅ}行^{ぎょう}をす^{おんな}てい^こる女^この子^こ
すがた とお ともだち いっしょ きも
の姿^{すがた}を通^{とお}して、友^{とも}達^{だち}と一^{いっ}緒^{しょ}に気^き持^もちを
あ 合わせて、や^あっ^あて^あて^あみ^あよ^あうとす^{すがた}る姿^{すがた}がいろ
んな場^ば面^{めん}で見^みられるようになりました。

「ケンカオニ」

ぶん とみやす ようこ
文:富安 陽子
え にしまき かやこ
絵:西巻 茅子

いっしょ あそ ふたり おとこ こ ささい
一^{いっ}緒^{しょ}に遊^{あそ}んでい^{ふたり}た二^{おとこ}人^この男^この子^{ささい}が些^さ細^{さい}なこ
でケンカに。二^{ふたり}人^{あか}に赤^{あか}と青^{あお}のケンカオニがくっ
つき、ど^{ふたり}ん^{あか}ど^{あお}んエスカレ^{あお}ートしていきま^{あお}す。
「かえるにたべられちゃえ」等^{など}、言^いったこ^いが
ほんとう 本当^{ほんとう}になるおもしろさと、ど^こん^こど^こんダイナミッ^こク
になる展^{てん}開^{かい}がお^こか^こしく^こて、子^こども達^こ同^こ士^こで笑^{わら}い^{わら}な
ら見^みています。